

五十音五七五

あ.. 雨が降る あちらこちらの 雨蛙

い.. 犬が行く いつかどこかの 石畳

う.. うしろから 嘘か真か「うち、すきよ」

え.. 蝦夷の春 えにしの誓い 恵庭岳

お.. 思い出は 小浜・大阪 オリベツテイ

か.. カレンダー 過去と未来を 架橋する

き.. 聞こえるか キリコの汽車の 汽笛の音

く.. 黒髪の 癖を知りたる 薬指

け.. 県外の 見物客に けんか腰

こ.. コロナ禍よ こんなこれから このままか

さ.. サルスベリ さもありなんと 猿ながめ

な.. なに願う 名残の夏の 流れ星

し.. 心配は 仕方がないよ 手術室

に.. 「虹を見た」 にこにこ顔で 日記帳

す.. すでになき 姿に似たる 姿なし

ぬ.. 盗人も 盗まず通過 布マスク

せ.. 咳が出た 世間の視線 背中刺す

ね.. ネコジャラシ 猫大あくび ねてしもた

そ.. そばにいて そっと支えて 外は雪

の.. のちの世に 望みを託し 狼煙上げ

た.. 耐えかねた 正しい世から 退散す

は.. 灰色の 「はい」と「いいえ」を 廃棄せよ

ち.. 父いない 父の日が来る ちぎれ雲

ひ.. 引っ張って！ 引き返せない ひとりでは

つ.. 突っ走る 土のインドの 土埃

ふ.. ふるさとの 古き記憶よ 不幸な子

て.. 手の香り 手書きの文の 定期便

へ.. 部屋にいる 閉塞状況 変化なし

と.. 闘病の 遠くにありて 友の日々

ほ.. 香港の 誇り、習に 葬られ

ま.. 間違いの 満場一致 マオの国

ら.. 乱気流 落雷・直撃 落下中

み.. 道ばたの 南インドの ミルクティー

り.. リタイアー 力走力投 離陸する

む.. 無理するな 迎えに行くから 向かうから

る.. 流説流布 涙腺ゆるみ ルージュ引く

め.. 「めしあがれ」 メガネの奥で 目を細め

れ.. 列島は 憐憫愛語 劣化して

も.. 孟春に モンゴロイドが 餅を搗く

ろ.. 倫敦の ロイヤルファミリー 蠟人形

や.. 山ガール 柔らかウエア― 槍が岳

わ.. 若き日々 勿忘草の 我が人生

ゆ.. 夕涼み ゆかたのきみの 指にふれ

よ.. 呼ばれるよ 予約できない 黄泉の国

注；

「い」；イタリアの思い出。

「お」；オリベッティは初めて買ったタイプライター。

「き」；キリコはシュールな絵のどこかに汽車を描いている。

「つ」；インドの田舎を走るバスの追い越しはすごい。

なかなか加速できないのに。

「み」；南インドで南下する長距離バスに乗ったことがある。

止まる度にミルクティーを飲んで元気になった。

「も」；孟春（もうしゅん）は陰暦正月

「ら」；東シナ海上空だった。中型機に落雷した。

機は急激に落ちていった。機内は阿鼻叫喚。

円い窓の外に縦の境界線が見え、左が空で右が海だった。